

防護柵の管理・適切な捕獲

(効果的な防護柵が、確実な害獣捕獲につながります！)

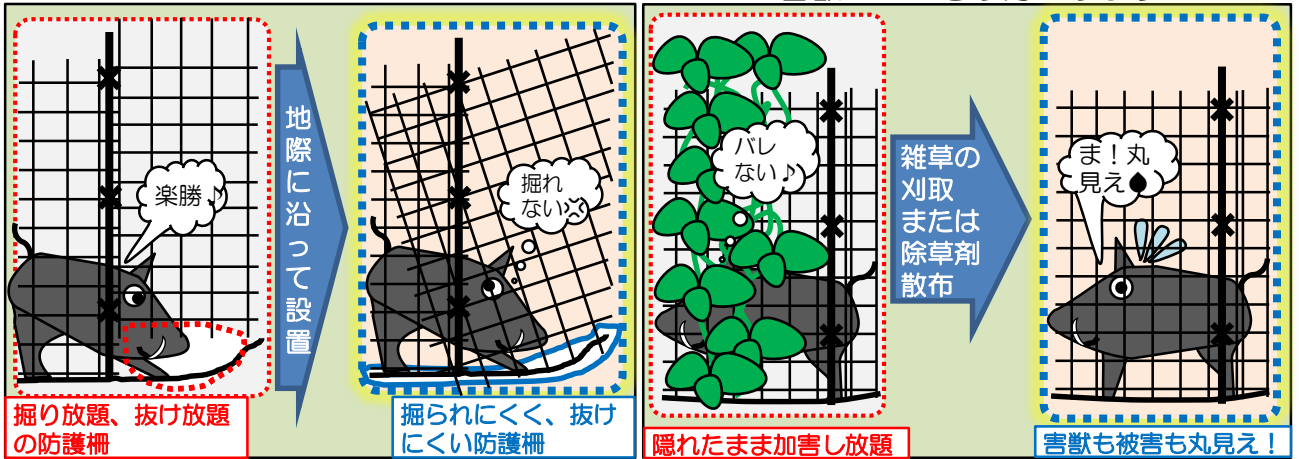


1. 予防対策その②防護柵の管理 ~設置後の状態を保ちましょう!~

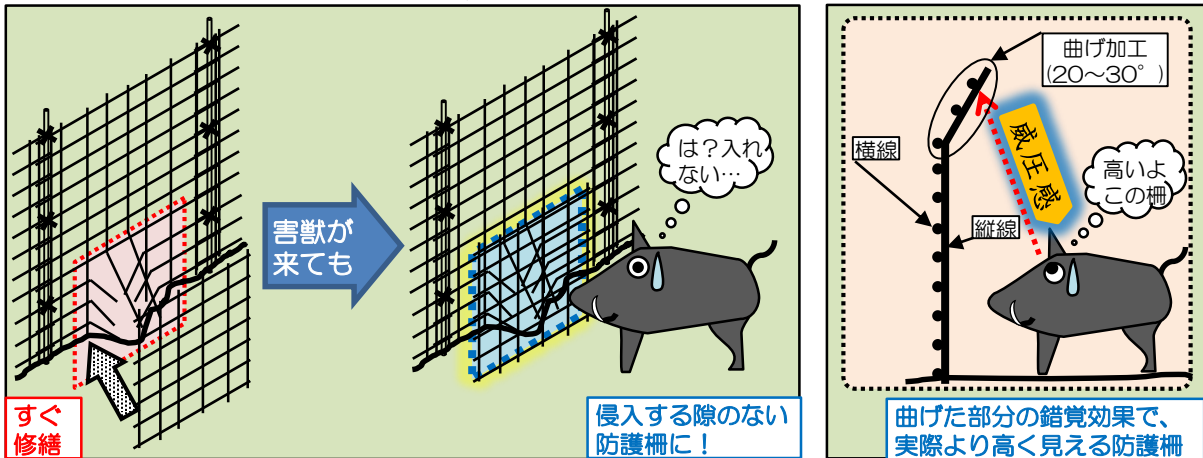
1) ワイヤーマッシュ柵 (金網フェンス柵も同様)

ポイント ※シカ対策として設置した防護柵も同様に管理してください。

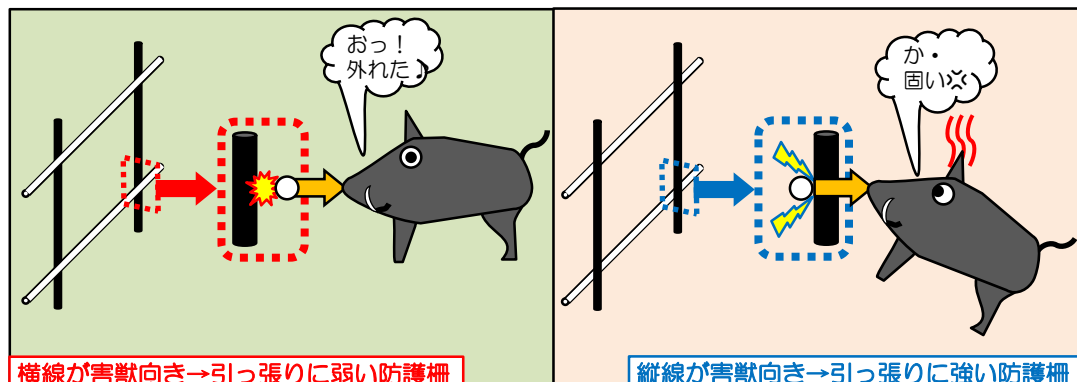
- (1) 地際にすき間なく設置
※掘られない、抜けられない防護柵にしましょう!
- (2) いつも柵が見えるように管理
※絡まった雑草等を取り除けば、被害も害獣もはっきり分かります!



- (3) 破損箇所は見つけたその場ですぐ修繕
※害獣は24時間防護柵の破損箇所を探しています。害獣が来る前に修繕しましょう!
- (4) 上部を害獣方向に曲げ加工
※イノシシから見ると、柵が上から迫って見えます!



注意 ⚠ワイヤーマッシュ柵は「縦線が害獣向き」! ※引っ張りで被害が拡大します!



横線が害獣向き→引っ張りに弱い防護柵 | 縦線が害獣向き→引っ張りに強い防護柵

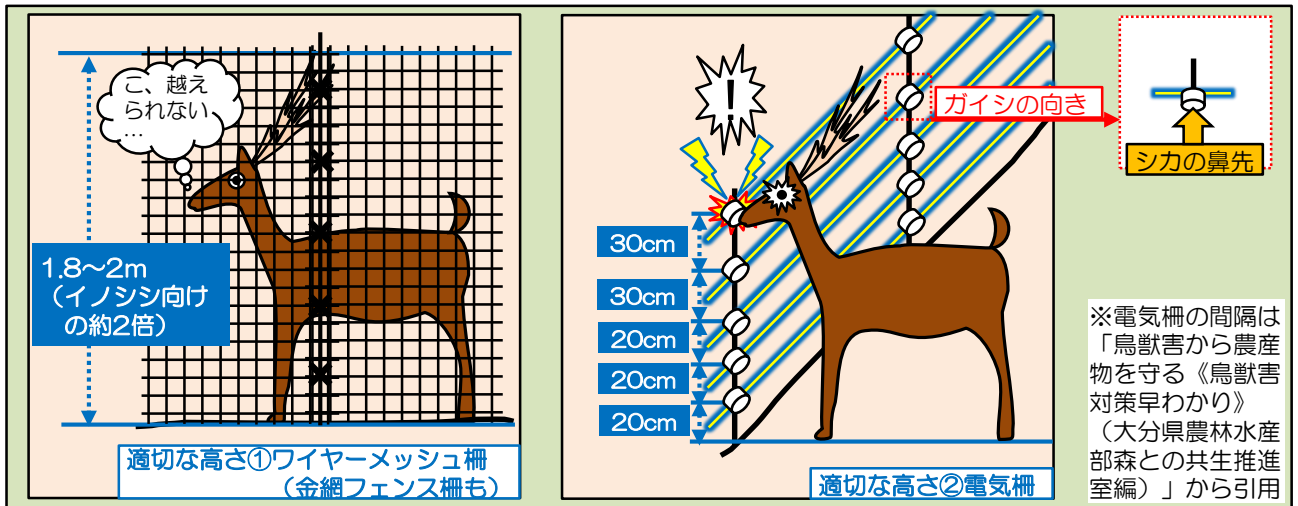
- ワイヤーマッシュ柵同士をつなぐ支柱を農地側に設置することにより、更に強固な防護柵となります。



2) シカが出没する集落（自治区）での留意点

ポイント ※シカは背の高さを生かして加害します！

(1) 適切な高さの確保 ※飛び越えさせない、確実に感電させる高さにしましょう！



注意☞電気柵のタイマー機能は思わぬ被害の原因となることがあります！

- ・設置後は24時間通電し、害獣に「あの柵は危険物」と学習させることが重要です。

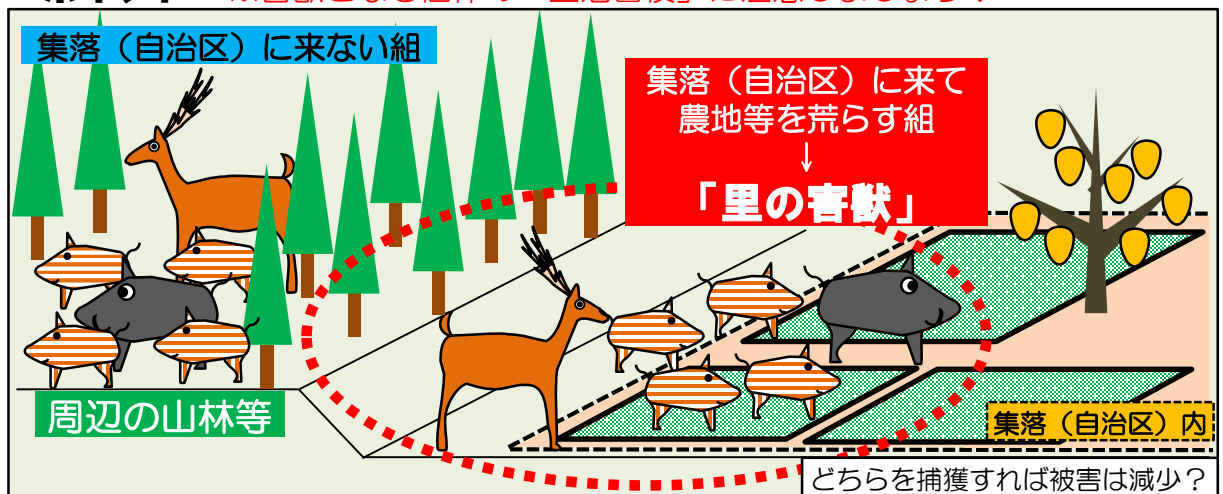
(2) 地際にすき間を作らないよう設置 ※跳ぶのは慌てて逃げ出す時くらいです！

- ・シカも地際から侵入する習性があります。防護柵はイノシシ同様地際に沿って設置し、大きなすき間を作らないよう心がけましょう。

※増水や土砂崩れ等により防護柵が壊れた場合は速やかに修復し、害獣の「扎扎实り侵入・加害」を防ぎましょう！
(電気柵セットお持ちの場合は、応急防護柵とすることも有効です)

2. 適切・効果的な害獣捕獲 ～「里の害獣」を捕獲しましょう！～

ポイント ※害獣となる個体の「生活習慣」に注意しましょう！



- ・「郷の害獣」は多くが特定の個体です。これを捕獲することで、被害は確実に減少します。
- ・害獣は捕獲器（はこわな・くくりわな）に進んで近付いてくれません。
 - ①放任果樹の伐採、農地周辺の草刈等による集落環境対策
 - ②農地等への効果的な防護柵設置及び管理による食害防止
 を徹底し、**害獣の食べるものは捕獲器にしか置いていない状態を作る**ことが重要です。

注意☞有害鳥獣を捕るためには「狩猟免許（銃猟・わな猟）」が必要です！
免許試験に係る事務手続等は、中部振興局農山漁村振興部森林管理班（電話番号下記）にお問合せください。

お問合せ先：大分県中部振興局

農業被害（水稻・麦・大豆等）

狩猟免許・林業被害

集落営農・農地活用班

森林管理班

電話097-506-5791

電話097-506-5749